



だっこ通信

第13号

2021. 8月発行



だ いじょうぶ・つ ながる・こ そだて



あるある話「～しちゃダメ」



わーい

のってダメ!

落ちたら大変。ママは怒っています。



高い所に興味をもち、机に乗ってしまうA君。落ちてケガをするんじゃないか、そもそも机にのるなんて行儀が悪い・・・そう思って「のってダメ」を繰り返しますが、効き目がありません。さてどうする？

「のってダメ」 ➡ 言い方を変えて「**下りて**」のように、**してほしい行動**をくり返す。
「下りて」→「下りたね」→「できたね」のように、最後は**○**で終わる。

声のかけ方 ➡ 「落ちてケガをするかもしれないよ」「行儀が悪いことだよ」(理由)
「高い所にのってみたかったの？」(共感)
「こっちの○○ならのっていいよ。」(別のもの)
「洗濯が終わったら、公園に行こうか。」(別の行動)

「ダメ」という言葉をつい使いがち。でも、ダメばかりを言われると**否定されたよう**に感じます。大人もそうです。「ダメだなあ」「だからダメなのよ」と言われると、自信がなくなります。

「ダメって言われても・・・。じゃどうすればいいの？」って思います。

そこで、**○になる行動を具体的に教えてほしい**のです。「～はダメ」という**×の言葉**だけでなく、「**こうしよう**」という**○になる言い方**をすると分かりやすくなるようです。

★本日のお題

×の言葉だけでなく、○の言葉も

「～しちゃダメ」のあとに「**どうすればよいか**」という**○になる言葉**を加えましょう。○の言葉を理解すると、子どもは**できることが増えて自信がつきます**。親も褒め言葉が増えていきます。

発行者: さくら市生涯学習課(担当 鈴木)